

進路便り

2019/8/22 進路指導部

○夏休みの「思い出」

夏休みが終わりました。いつもより少し短い夏休みでしたが、物を考えるには十分な長さだったと思います。さて、とある卒業生が夏休み中に私を訪ねてきてくれました。その卒業生の姿だけでなく、他の卒業生の話も聞いて「様々な成長」を感じ、実に有意義な会話でした。会話で印象に残っているのは、「めっちゃ大変」の多さでした。勉強に、実習に、就活にバイト「遊ぶヒマなどない」状況のようでした。

本人は「遊びたい」「ゆっくりしたい」と言っていました、「それでエエねん」と聞きながら思っていました。また、スマホという便利なものが出来て、「似たようなもの」に人々は踊らされているとつくづく思いました。キャラが変わっただけのゲーム、SNS で量産される「流行」。それをやっている人は口々に「思い出」を口にしますが、覚えているのはスマホ、残るのはデータだけ、それが消えれば終わり。キラキラしているのは、スマホのデータ。

私が悲しいのは、そうした「思い出」を自慢する人は「言葉」が出てこないのです。「～の時に撮ってん。」という言葉、何をどう思ったのか。個性が欲しいと言いながら他人と同じ「思い出」を自慢しあっているのが「スマホ」の世界だと思えます。一方、間違いなくこの「夏」は卒業生にとって「思い出」になることでしょう。それはきっと、「しんどかった思い出」でしょう。ただ、それはデータにはならない、「自分だけ」の思い出です。

○中身のある志望動機

3年生と進路の話をしているときに聞く悩みの多くは「志望動機」が書けないということです。これは今の3年生だけではなく、先輩も同じでした。企業や学校が志望動機を聞くのはなぜか？それは、受験生が「大人の答え方(考え方)」を出来るかどうかを見たいのです。

×「働きたくない(から進学)」「勉強が嫌い・苦手(だから就職)」

⇒「～が嫌」は子どもの考え方で、「大人」の考え方ではありません

▲「お金が欲しいから(就職)」

⇒給料は**本来**努力した結果ついてくるものです。確かに生活するためにはお金がいるので、本音は皆お金のために働いてはいますが、常に本音を言うのは「子ども」なのです。

△「小さいころからの憧れ」「興味がある」「好きだから」

⇒これは素直でいいのでは？違います。憧れがあって、興味があって、好きなのは当たり前です。その会社で何をしたいか。その学校・大学で何を学びたいか。小学校中学校と変わらない気持ちをアピールするのではなく、高校で色々なことを学び、色々なことを悩み、それでも志望する気持ちをアピールするのが志望動機です。

○揭示主義で動こう

揭示主義とは、出された情報は「すべて理解されている」前提で動いていくことを言います。簡単に言うと「聞いてませんでした」「見てませんでした」は通用しないということです。皆さんは配られたプリントに目を通していますか、理解していますか。教室にプリントを捨てている人はすべて理解した上でその行動をしているのでしょうか？社会は揭示主義で動いています。

就職希望の人は、就職説明会で渡された資料を自分で理解して、「提出期限」を守ることの難しさを分かっていますか？9月はいよいよ就職選考が始まります。もう一度、スケジュール、準備しなければならないことを確認し本番に備えましょう。

進学希望の人、あなたはいつ何をすべきかわかっていますか。先生が「～までにこれ書いて(用意して)」と言われないと準備できていないのではありませんか。また、近年様々な入試方法がありますが、「行き当たりばったり」で受験しようとしていませんか。特に四年制大学志望の人、センターを利用する入試は遅くに試験がありますが、それは「すべりどめ」という意味ではありません。本気の受験生はいつどの入試を受けるか考えて準備しています。時期の早い遅いで難易度は決まりません。そういった情報も学校や様々なところで「揭示」されているはず。それが理解できていれば自主的に動いているはず。主体的な受験を行って、希望の進路実現をめざしてください。

○3年生の9月 ※いずれも希望者のみ

就職	進学
8/27・28・30 就職模擬面接	8/23 指定校推薦説明会
5 応募書類発送	4 指定校校内選考会議
16 選考解禁	5 指定校願書受け渡し
	6 センター試験説明会・書類配布
	17・18・19 進学模擬面接

3年生の進路スケジュールを簡単にまとめました。3年生は自分がどれに関係するのかをよく確認しておいてください。1・2年生はこの表を見れば、夏休みよりもっと前に進路を考え、それまでに様々なことを準備しないといけないことが分かりますね？「まだ～あるから」と思っている人、進路は周りとの戦いですよ。

また、この表に書いていない提出期限は各説明会で説明されているはず。揭示主義で動いています。間違っても「プリント無くしました」「大事なプリント破れたのもう一枚ください」と言うことが無いように。